

# 江戸時代の堤防

## 石川除

【いしかわよけ】

### 飯田市文化財に指定



「座光寺の石川除」が市文化財(史跡)に指定されました。石川除は天保2年(1831)、天竜川と支流の南大島川との合流点(河原会所付近)に、地元住民の手で築かれた川除(堤防)です。花崗岩を2段に積んだ構造で、確認されている部分は高さ3メートル余、全長約215メートルに及び、水門や水見台などもあります。

江戸時代の堤防は修復などで改変されたものが多いなか、石川除は当時の姿と特徴をよく残す、貴重な文化遺産です。

### 渋谷駅前に竹垣を整備

昨年の11月22日、竹宵の「かぐや姫」など座光寺住民有志の手で、東京渋谷駅前・忠犬ハチ公像横の小公園に、座光寺の竹を使った垣根が完成しました。

竹垣は交流のある渋谷区からの要請に応えたもので、60メートルにわたり駅前広場の植樹帯を囲んでいます。近くに行かれた際はぜひお立ち寄りください。



「ふるさとパック」は旬の座光寺農産物の詰め合わせ。ふるさとを離れて暮らす方に、自然の香りや懐かしい味をお届けしています。

**ふるさとパック**  
**春の味覚満載便**  
2,000円(送料別)

- お申し込み先 座光寺自治振興センター内  
麻績の里ふるさと応援俱楽部  
(TEL.0265-22-1401・FAX.0265-22-1475)  
E-mail:zakouji@city.iida.nagano.jp
- お申し込み締切 平成25年4月31日
- お届け時期 平成25年5月中旬  
※代金は商品到着後にお支払いください。

# 座光寺便

信州飯田

麻績の里

2013.3  
No.11  
陽春号

## 野鳥が語る 座光寺の自然

### 野鳥観察とフクロウの 保護活動をとおして

「座光寺にはどんな生きものが、どんな暮らしをしているのだろう」。それを知ろうと、座光寺小学校の子どもたちが、野鳥の観察と保護活動に取り組みました。

ふるさとを自分の足で歩きまわり、自分たちの目や耳で確かめ、身体全体で自然とのつながりを感じ取る学習活動でした。



この活動をとおして子どもたちは、座光寺の自然の豊かさ、すばらしさ、そしてかけがえのなさを実感することができました。





### 林野庁長官賞を受賞

昨年11月26日に環境省で行われた「全国野生生物保護実績発表大会」で、座光寺小学校の取り組みに対し「林野庁長官賞」が贈られました。活動を支えてくれた地域のみなさん、本当にありがとうございました。

巣箱は座光寺富士の麓から天竜河原まで、全部で26個設置。2011年10月からは夜間調査も開始しました。そして12年4月7日、クラスみんなの熱意と努力が実り、フクロウの繁殖を確認することができました。

一連の活動で子どもたちは、自然のすばらしさを認識するとともに、「フクロウ」と会える里・座光寺」という将来への夢を描くことができました。



繁殖したフクロウのヒナ(5月1日の観察から)

私は野鳥観察を始めて、「座光寺つってすごいな」と思うようになりました。それは私たちが暮りす座光寺に、絶滅危惧種のオオタカや、とてもきれいな色をしたオオルリという鳥などがいたからです。(中略)私が一番感動したのは、オオルリとの出会いでした。みんなで山の神公園の近くの沢を行った時、木のつべんにとまっているオオルリを見つけることができました。オオルリは朝日を浴びて、体がるり色に輝いていたのです。「こんなきれいな鳥がいるんだと思いました。



野鳥観察を始めて良かったことは、「自然を大切にすることの大変なんだ」と思えるようになつたことです。今までは鳥がいても、また、鳥がいなくなつても、何も変わらないし、関心がなかつた

### 野鳥観察の感想(抜粋)



### ●繁殖に大感激

2011年10月からは夜間調査も開始しました。そして12年4月7日、クラスみんなの熱意と努力が実り、フクロウの繁殖を確認することができます。



### ●71種の野鳥を観察

この調査で、71種の野鳥を観察することができました。これは南信州に生息する野鳥(100～110種)の約70%に相当します。また、環境省指定の絶滅危惧種・準絶滅危惧種が3種、県の絶滅危惧種4種、同準絶滅危惧種4種も確認することができました。

### ●自然の多様性を語る ●自然の多様性を語る

環境が多岐にわたりないと、野鳥の種類



### 【2. Report】 「フクロウの保護活動」 準絶滅危惧種の繁殖を願って

フクロウは県の準絶滅危惧種ですが、調査の中で何度か確認され、座光寺で繁殖している可能性が高いと考えられました。そこで同校では巣箱を作り、森や林に設置してみるとことになりました。美しい鳥貴重な鳥がたくさん生息していることもわかりました。指導に当たった同校の田畠孝宏先生は、「キビタキやオオルリといった美しい鳥が、学校周辺で観察できるなんて、すばらしい環境です」と話してくれました。

## 1 Report 【野鳥の生息分布調査】 南信州の野鳥の7割を確認

2011年4月から翌12年10月までの19ヶ月間に、同校6年1組では、座光寺地域の野鳥分布調査を計82回にわたって実施しました。調査地は学校周辺のほか、座光寺富士山頂から天竜川河畔まで、5カ所を拠点に広い範囲にわたって行いました。

## 2 Report 【フクロウの保護活動】 準絶滅危惧種の繁殖を願って